

EtherCAT Technology Group
メンバー各位

EtherCAT
Technology Group

ETG 日本オフィス
神奈川県横浜市
中区桜木町1-1-8日石横浜ビル
18F
日本

+ 81 (0)45 650 1610
info.jp@ethercat.org
www.ethercat.org

2025 EtherCAT International Technology Week Japan | オンライン

2025年2

2025年3月10日-14日

ETGメンバーの皆様へ、

EtherCAT Mainデバイス、Subデバイス、コードや関連ツールの開発者の皆さまに、今年も開催されるEtherCAT International Technology Week (ITW) ワールドシリーズをご案内します。このイベントは今年で4年目を迎えるETGの定番であり重要なイベントの一つです。

ITWでは、ETGのエキスパートがEtherCAT関連のトピックについて開発に関する詳細な考察や実践的なガイダンスを提供するテクニカルウェビナーを開催します。これらのセッションはEtherCATデバイスの実装、認証、リリース時に発生する一般的な課題に対応するように設計されています。各ウェビナーの後にはQ&Aセッションを設け、質問や発表者との対話の機会を提供します。



Dr. Guido Beckmann

このウェビナーではEtherCAT技術の実装と活用に焦点を当てています。EtherCAT初心者にも経験豊富な開発者にも興味深い内容となっています。新しいセッションと昨年既に開催されたセッション両方とも合わせてご覧ください。以前に参加された方でも、拡張機能や新しい側面が取り上げられている場合があるので、新たな発見があるかもしれません。

今年のITWワールドシリーズ、特に2025年3月10日から14日まで開催されるITWジャパンにご参加ください。各セッションの詳細やスケジュールは以下のページからご覧ください。

ウェビナーへのお申し込みは、以下のリンクからお願いいたします：

www.ethercat.org/itw-japan

ETGメンバー専用のイベントです。参加費は無償です。ご興味のある方は、ぜひETGまでご連絡ください！

ご不明な点がございましたら、お気軽にご連絡ください。

多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

Dr. Guido Beckmann
技術委員会 チェアマン
EtherCAT Technology Group

ウェビナー

スーパー マンデー

2025年3月10日 月曜日
02:00 pm –03:00 pm (JST)

EtherCAT開発の始め方 - いくつかの重要なポイント

EtherCATの機能原理はシンプルですが、多くの実装オプション、通信デバイス（ASICS、SoCなど）、ドキュメント、開発者向けイベントが用意されています。このウェビナーでは重要な決定事項や開発ステップとその順序を示します： 基本的なEtherCAT理論トレーニング、EtherCAT Subデバイスコントローラを選択するためのパラメータ選択、利用可能なEtherCAT Subデバイスソフトウェアスタック、パラメータやプロセスデータの整理、社内テスト、テストツール、EtherCATテストセンターによる公式テスト、開発者向けイベントなどが含まれます。



Florian Essler

2025年3月10日 月曜日
03:30 pm –04:30 pm (JST)

WiresharkによるEtherCAT解析

ハードウェアとソフトウェアの両レベルでEtherCATが提供する標準的な診断機能に加えて、WiresharkはEtherCAT通信の解析や複雑な低レベルの問題のトラブルシューティングによく使用されます。デフォルトで、WiresharkにはEtherCATデータグラムの個々のフィールドを表示しフィルタリングできるプロトコル表示機能が含まれています。このウェビナーでは、Wiresharkの様々な機能をEtherCAT通信解析の各種具体的シナリオにアプローチするための活用方法に対して実践的な例を用いて紹介します。



Alessandro Figini

プロフィール 火曜日

2025年3月11日 火曜日
02:00 pm –03:00 pm (JST)

プロフィールを使用したCoEオブジェクトディクショナリーの構造化 MDP、DS402、セミデバイスプロフィール

CoEオブジェクトディクショナリーは、Subデバイスに関するすべてのパラメータや変数を一覧化し、センサーやアクチュエーターの機能を制御・活用するためのインターフェースとなります。デバイスのタイプによって、異なるデバイスプロフィール（たとえば基本的な構造のMDP、ドライブ用のDS402、特定用途向けのバルブやゲートウェイの詳細なプロフィールなど）を設定することができます。これらのプロフィールは、開発者にとって実装の指針となるだけでなく、デバイスユーザーにとっても操作や設定を理解するための便利ナリソースとして役立ちます。結果としてほぼ全てのEtherCATデバイスが、デバイスプロフィールを通してその利点を楽しむことができます。このウェビナーでは、こうしたデバイスプロフィールを利用する際の基礎的な概念と利点について解説し、さらにそれがESI（EtherCAT Subデバイス情報）におけるモジュールやスロットの概念とどのように統合されているのかについても説明します。



Florian Essler

2025年3月11日 火曜日
03:30 pm –04:30 pm (CST)

ESIおよびオンラインCoEオブジェクトディクショナリーのモジュール/スロットの使用

ESIエレメントのモジュールとスロットは、モジュール型サーボドライブやゲートウェイなどの柔軟なEtherCAT Subデバイス記述を可能にします。このウェビナーでは、ESIエレメントの正しい使用方法とモジュール/スロット機能に使用するオンラインCoEオブジェクトについて説明します。



Florian Hammel

ウェビナー

SSC 水曜日

2025年3月12日 水曜日
02:00 pm –03:00 pm (JST)

Slave Stack Code (SSC) Tool: How-to パート I

1. アイデアからアプリケーション実行までの手順（ベッコフEL9800ハードウェアベース）
2. SSCコマンドラインツールでの作業
3. 独自のSSCツール設定構成の作成
（開発サービスプロバイダー、ESCまたは開発ボードベンダーが独自/カスタムコード設定を配布する場合）



Rainer Hoffmann

2025年3月12日 水曜日
03:30 pm –04:30 pm (JST)

Slave Stack Code (SSC) Tool: How-to パート II

1. SSC ツールプロジェクトの更新
2. 独自のハードウェアアクセスレイヤーを作成する
3. 既存アプリケーションのアップデート



Rainer Hoffmann

CTT 木曜日

2025年3月13日 木曜日
02:00 pm –03:00 pm (JST)

CTT - 基本機能とスレーブ開発への活用方法

EtherCATコンフォーマンステストツール（CTT）の基礎とEtherCAT Subデバイス開発での使用方法を紹介します。このプレゼンテーションでは、ツールの多くの便利な機能やプラグイン、EtherCATプロトコルのテスト、様々なEtherCAT Subデバイス構成の長期テスト、エラー検出メカニズム、テスト結果の解析について説明します。



Gregor Erzen

2025年3月13日 木曜日
03:30 pm –04:30 pm (JST)

CTT - 高度な機能（リモートコントロールインターフェース、設定、他）

このウェビナーでは、複雑なEtherCAT Subデバイスの高度なCTT設定とテストを紹介します。また、CTTリモートコントロールインターフェースを使用した自動テストの実行方法についても説明します。PowerShell™によるスクリプト作成により、リモートでCTTを起動し、異なる設定をロードしてテストを実行し、結果を保存して内部テスト文書化することができます。



Oliver Horst

ウェビナー

コンFORMANCE・フライデー

2025年3月14日 金曜日
02:00 pm –03:00 pm (JST)

EtherCATコンFORMANCEテスト - パートI: 合格証のメリットと入手までの手続き

EtherCATテストセンター (ETC) での公式EtherCATコンFORMANCEテストには多くの利点があり、オプションですが強く推奨します。このウェビナーでは、装置メーカーやデバイスメーカーにとってのEtherCATコンFORMANCEテスト合格証の重要性について説明します。証明書の取得プロセスや実践的なヒントについても説明します。



Gregor Erzen

2025年3月14日 金曜日
03:30 pm –04:30 pm (JST)

EtherCATコンFORMANCEテスト - パートII: テストレコードに沿ったデモ

世界中の各ETC (EtherCAT Test Centre) で実施されるテストの詳細はETG 7000.2 テストプロトコルで規定されています。7000.2テストレコードで詳細に規定されています。このテスト手順は、CTTの使用法と手動で実施するテストをカバーしています。このウェビナーでは、ETCテストエンジニアが実施するのと同じ方法で手動テストを実施し、EtherCAT SubデバイスがETCテストに初回で合格し、高い品質基準を満たすための最善の準備をする方法を説明します。



Alessandro Figini

セッションカレンダー

2025 EtherCAT ITW Japanで開催するウェビナーセッションの概要は以下からダウンロードして下さい：
https://www.ethercat.org/download/2025_EtherCAT_ITW_Japan_SessionTable.pdf

JST	月曜日 2025-03-10	火曜日 2025-03-11	水曜日 2025-03-12	木曜日 2025-03-13	金曜日 2025-03-14
01:30 pm	キックオフ				
02:00 pm	EtherCAT開発の始め方 - いくつかの重要なポイント	プロファイルを使用したCoEオブジェクトディクショナリーの構造化 MDP、DS402、セミデバイスプロファイル	SSC ツール: How-to パート I	CTT - 基本機能とスレーブ開発への活用方法	EtherCATコンFORMANCEテスト - パートI: 証明書のメリットと組織的な手続き
03:00 pm	Q&A	Q&A	Q&A	Q&A	Q&A
03:30 pm	WiresharkによるEtherCAT解析	ESIおよびオンラインCoEオブジェクトディクショナリーのモジュール/スロットの使用	SSC ツール: How-to パート II	CTT - 高度な機能 (リモートコントロール・インタフェース、コンフィグレーション、他)	EtherCATコンFORMANCEテスト - パートII: 実践テストレコード
04:30 pm	Q&A	Q&A	Q&A	Q&A	Q&A
05:00 pm					まとめ

お申し込み

登録期限：2025年3月7日

オンライン登録

オンライン登録はこちらから

www.ethercat.org/itw-japan

多くのウェビナー、Q&Aセッションにふるってご参加ください。

登録期限：2025年3月7日

ぜひ御社内の関係部署や同僚の方にもご案内ください

ETGメンバー専用のウェビナーです。[メンバーシップ](#)の取得はこちらから

オンライン プラットフォーム

[GoToWebinar™](#)を、ウェビナー・ソフトウェアとして使用します。

GoTo Webinar

オンライン登録の確認と通知

各登録にはETG本部の承認が必要なため、ログイン情報の提供は登録後少々お時間をいただく場合があります。ログイン情報は個人専用のものであり、組織内外を問わず他者と共有することは禁止されています。

[GoToWebinar™](#)から、各ウェビナー開催日の前日と1時間前にEメールでお知らせします。

講演者紹介

EtherCAT International Technology Week の注目ポイントの一つは、講演者がそれぞれのプレゼンテーションを入念に準備し、終了後のQ&Aセッションで参加者の質問に回答することです。

参加者は、EtherCATのエキスパートから直接ノウハウや知識を学ぶ貴重な機会を得られます。EtherCAT International Technology Week (ITW) World シリーズのランディングページでは、EtherCATエキスパートに関する情報やその他の詳細情報をご確認いただけます：

www.ethercat.org/ITW